

## 発見！ながさき遺産塾





### ■ 塾長コメント ■

～守りたい「長崎」の中の「長崎」～

2年間に渡る塾活動の舞台は、中通りを中心とした中島川から寺町にかけての地域で、老舗の商店街や数々の町家(まちや)を残す、長崎の中の「和み(なごみ)」の町並み区域でした。この界隈は、「異国文化の混在する町」といわれる長崎の中で、西洋色でも中国色でもない「素顔の長崎」であり、現在においても暮らしと商売が一体となって活気付き、昔ながらの建物や商店は、訪れる人に「ほっ」と心の落ち着きを感じさせてくれる地域となっています。

これから、町が新陳代謝を繰り返していく中で、長い間大切に守られて来た建物や商店が、実際に見ることのできる町の歴史や個性(遺伝子)となって、家族にとっての「宝」のように、他には二つとない大切な「町の宝」となっていくことを願いながら活動を続けて参りました。

塾活動の中で、町の方々に直接お話を伺うことができ、町に対する本物の「誇りと愛着」を教えて頂いたと思います。何ごとにも効率ばかりが優先された価値観が、大きく変わりつつある現在、「ほっとできる町」の存在が、人や地域にとって、とても大切な「宝」になっていくものと思います。

塾の活動に御協力を頂きました皆様には、心より感謝申し上げます。

### ■ 塾の目的 ■

町のなかにあって文化財や伝統的建造物等にはならないけれど、「町の宝」と言える建物や商売や構造物にスポットをあて、多くの人に知ってもらい守っていきたいと考えています。住んで・歩いて心地よいまちは、多くの魅力的なもの(建物、商売、風習など)があふれているまちだと考え、魅力的なものを見つけだし、地元の人をはじめ、多くの人々に再認識してもらうために「ながさき遺産」としてピックアップし、皆さんと一緒に次の世代へ残していきたい。また、「ながさき遺産」として地図や冊子にまとめて、広く知らせていきたいと考えています。

### ■ 塾の研究・活動内容 ■

昨年度は、対象地域の中心である中通り商店街の中の「ながさき遺産」を認定し、伝習所まつりにおいて認定式を行い、総長より認定証を授与して頂きました。また、「ながさき遺産めぐり・中通り編」の地図を作成して伝習所まつりで配付しました。

今年度は、中島川から寺町までの「周辺地区」に範囲を広げて調査を行いました。

まずは、50年前の住宅地図や古い資料の調査をし、古いと思われる建物の位置を確認。次に班に分かれて実際に現地調査を行い、写真を撮りながら古いか否かの確認と判定。その後、班毎の調査で撮った写真の全てを1軒ずつ塾の皆で検討して判定。対象地域の各自治会長様のご協力を頂き、歴史があると判断された建物について戸別の聞き取り調査を実施。調査して、地図に掲載許可を頂いた建物のみ掲載して地図にまとめました。

また、12月12日(日)に酒蔵が多く残る佐賀県鹿島市浜宿と、嬉野市塩田津への視察研

修を実施しました。二地区ともに重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、現地のボランティアガイドと地元の建築士の皆さんにより詳細な案内をしていただきました。

### ■ 塾活動の成果 ■

昨年度の成果品として、地元商店街の多大なご協力を得ながら作成しました地図「ながさき遺産めぐり・中通り商店街編」は、地元商店街の皆さんにも好評を頂き、増刷をしながら愛用して頂いています。

今年度は、範囲を広げての地図作成となり、町の個性も様々であったため、町全体の歴史や風土を踏まえ、町の個性を活かし、落ち着いたある町並みが連続して感じられる、地域全体のイメージを作ることができればと考えて地図を作成しました。

地図を作成するにあたり、班に分かれて現地調査を行った際や、戸別の聞き取り調査を実施した際、塾生それぞれが町の方々から直接お話を伺うことができ、町への熱い思いを肌で感じる事ができたことはたいへん有意義だったと思います。

### 成果

- ・ ながさき遺産と思われる建物の分布図
- ・ データ化した周辺地域地図
- ・ ヒアリングシート一覧表
- ・ ながさき遺産地図作成
- ・ 佐賀県鹿島市浜宿と嬉野市塩田への視察
- ・ 伝習所まつりにおける

「ながさき遺産さるく」の実施





昨年度の  
伝習所まつりでは  
塾生が和装で参加



データ化した地図

## 発見！ながさき遺産塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
<b>平成 22 年</b>		
5 月 14 日 (金)	長崎県勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介、担当係り、これからの活動について</li> </ul>
6 月 20 日 (日)	中通り→アマランス第 1 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小雨の中、昨年作った地図を見ながら中通りめぐり</li> <li>・ 今後の活動について(アマランス)</li> <li>・ 浪平小学校など、中通り以外の「番外編」の収集</li> <li>・ 昨年の活動を再度確認</li> </ul>
7 月 28 日 (水)	アマランス和室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年、写真を撮りながら歩いて作った地図や、途中段階の地図を確認</li> <li>・ 浪平小学校の現状について(小林氏より説明)</li> <li>・ 次回は、中通り以外の「ながさき遺産」候補を確認</li> </ul>
8 月 21 日 (土)	中通り周辺地区 アマランス第 1 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中通り以外の「ながさき遺産」候補を、5 班にわかれて実際に見て確認</li> <li>・ 各班の報告、総数の確認</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>
9 月 8 日 (水)	アマランス第 2 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 班にわかれて実際に見て確認した写真を、A 古い、B 古い可能性がある、C、わからない、D 新しいの仕分け</li> <li>・ 1 班と 3 班が発表</li> </ul>
9 月 29 日 (水)	アマランス和室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回に引き続きみんなで写真を見ながら確認</li> <li>・ 2 班と 4 班発表</li> </ul>
10 月 13 日 (水)	アマランス第 1 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 班の担当分の発表</li> <li>・ 研修旅行の日程調整</li> <li>・ 行き先候補地は、塩田津、嬉野、国見、天草唐津、豆田、鹿島、浜宿</li> <li>・ アンケートは自治会長さんを通じて実施</li> <li>・ 成果品の地図に載せてよいか確認</li> <li>・ 個人のお宅が多いので、以前のご商売(町名にちなんだ商売)や残っている道具の調査</li> <li>・ 地図データの対象建物をマーキング(竹田氏担当)</li> </ul>

日 時	場 所	内 容
11月10日(水)	アマランス和室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修 12月12日、浜宿決定</li> <li>・ ヒアリングの内容検討。班分けと担当地区決め。</li> </ul>
11月24日(水)	アマランス第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜宿の見学コース検討</li> <li>・ 各班に別れてヒアリングの予定打ち合わせ。</li> </ul>
12月12日(日)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修、鹿島市浜宿、嬉野市塩田。8時30分出発。</li> <li>・ 浜宿では、肥前浜宿まちづくりデザイン研究会の協力を得て、地元ボランティアの方に案内で視察</li> <li>・ 塩田でも、地元ボランティアの方と地元の設計事務所の方の案内で視察</li> </ul> 
12月15日(水)	アマランス第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修で感じたことを各自発表</li> <li>・ 各班に別れてヒアリングとピックアップする家等を検討</li> </ul>
<b>平成 23 年</b>		
1月12日(水)	アマランス和室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告書の担当者決定</li> <li>・ 地図のボリューム、配分を検討</li> <li>・ 各班に分かれて打ち合わせ</li> </ul>
1月26日(水)	アマランス第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進捗状況報告</li> <li>・ 地図の配分決定</li> <li>・ 各班で内容を決定</li> </ul>
2月2日(水)	アマランス第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各班で町ごとの地図のレイアウト決定</li> </ul>
3月21日(月)	ベルナード観光通り	<p>長崎伝習所まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査内容パネルの展示</li> <li>・ ながさき遺産さるくの実施</li> <li>・ クイズなどを実施</li> </ul>

## ●ヒアリング調査報告●

### 1 班

#### (川瀬、北浦、原田、山北、山口)

東古川通りと本古川通りを 5 人の塾生で 12 月～1 月の間に調査しました(調査回数 6 回)。

東古川通りは、中島川・寺町付近の中でも町家等の古い家並みが多く残っている通りで、町家の建物を住まいや店舗に利用されている方々や特徴的なご商売をされているところを中心に訪ね、まちのお宝や歴史等についての話を伺いました。

まちで天満宮に祭ってある弘法大師を交代で世話して守っていることや、疫病で町の人が沢山亡くなったことがあり小島方面に町の無縁墓を持っていること、東古川町 1 番地に大隈重信が下宿していたこと、創業明治 10 年の日本でも 1 番古いと思われるラムネ店があること、玄関に昔ながらの大戸があるお店等、沢山のお話を聞くことができました。

また、このまちのいいところは、便利で、中心部にしては意外に静かで住みやすいところ、また、小さな

お店がたくさんあり、通るだけでも楽しくなつかしい雰囲気があるところ等、お訪ねした多くの方から聞くことが出来て、その雰囲気



調査の様子

を大切にしている皆さんの想いが現在のまちなみをつくっているのではないかと感じました。

### 2 班

#### (神近、川瀬、小林、鉄川、濱崎、松尾)

西古川町と銀屋町、鍛冶屋町を 12 月～2 月の期間に 6 人で調査しました。この一帯はかつては道具町として栄え、中島川沿いには傘屋さん、家具屋さん、漆屋さん等が立ち並んでいたそうです。西古川町の金物店やガラス店より多くの情報と資料を頂きました。魚市場があったというお話、道具はそのまま残されており江戸から大正時代の町の賑わいと活気を現実として感じることができました。

銀屋町にはかつて銀細工のお店があったそうですが、今ではその流れを受け継いだお店はありませんでした。御主人が 9 代目という老舗の酒屋さんや明治時代からある教会では、伝えられて来た永い歴史が繋がっていました。

鍛冶屋町でも、かつて鍛冶屋だったというお店はありませんでしたが、長崎学専門店の古書店では、戦争によって町がこわされた歴史についてご教示頂き、老舗の楽器店では昔ながらの三味線の張替え作業を拝見しました。



昭和初期、踊町の様子



中島川沿いを馬が走っていました！

### 3班

(岸本、小武家、竹田、戸田、中田、濱田)

磨屋通りと諏訪通りを6人の塾生で12月～1月の間に調査しました(調査回数2回)。

この通りの家の中には路地があり、住宅、中庭、井戸があったそうです。今ではマンションに建て変わっている場所も、道路側から裏側へ通り抜けることができ、その名残を感じました。

寺町の通りには、浜屋の縫い子さんの工場があったこと、長照寺の敷地内には、鳥居があり、神仏習合の名残を強く残していることなど様々なお話を聞くことができました。

また、町境の溝が綺麗に残っている場所を教えていただき、当時の町割の様子を知ることができました。

外から見ると新しく見える建物でも中を見せてもらえると、木造の古い柱や梁などを見ることができて、建物や町並みの歴史を感じることができました。

### 4班

(阿多、里、竹中、富田、丸岡、峰)

新橋通りと紺屋通りを6人の塾生で12月～1月の間に調査しました(調査回数6回)。

青空市場が現在の場所で市場をするようになる昭和24年より前にも、中島川付近で据え売りをしていたこと、また古い石塀がある保育所のある場所には以前は赤十字の建物が建てられていたらしく、建物敷地には古いレンガ塀がのこっていること、また今でも小路や中庭がある町家に住む方に、昔されていた商売のお話を聞いたり、中島川沿いで旅館を営む方から、長崎で炭鉱が栄えた頃には中島川沿いに多くの旅館があったことをお聞きしたりしました。

この界隈に住む方はみなさんこの町の便利で静かなで住みやすいところ、夜警・くんち・精霊流しなど昔からの伝統がのこっているところを大切にされており、住んでいない私たちもその魅力に触れることができました。



古い建物の分布図



## ●鹿島・塩田への研修●

～伝統的建造物保存地区をさるいて～

日時:平成 22 年 12 月 12 日

場所:佐賀県鹿島市肥前浜宿～嬉野市塩田津

参加者:16 名

前回に続き、今回もお隣り、佐賀県内の伝統的建造物の保存・修復に取り組む『肥前浜宿』と『塩田津』に、まちなみの在り様を視察・研修に参りました。

浜宿は、江戸時代には長崎街道・多良住還の宿場町として、商家が栄え、生命のわき出づる海『泉水海(せんすいかい)』と呼ばれた有明海に面し、漁業も盛んな土地です。

台風などの自然災害や大火事により多くの草葺き民家が失われた後、明治にかけて防火性を高めた瓦葺き民家が建てられ、草葺と棧瓦葺き民家が軒を連ねる独特の町並みがありました。現在、地元の草葺き職人の技術と伝統的間どりの設計、施工で着実に古民家群再生されているとの事でした。

酒蔵通りは、昭和初期にピークを迎えた商業地区で造り酒屋の白壁の土蔵は澄みわたる空に生え、通りも、時折通る車はのんびり走る、散策しやすい道でした。お昼は、佐賀のおいしい米と素朴な味わいの料理を頂き、午後からは嬉野市塩田町へ移動しました。



『塩田津』は肥前風土記曰く、“一干満の差の大きい川《潮高満川》—今は訛って《塩田川》”に由来する塩田川を利用し天草の陶石

(有田焼などの陶器の原料)を運ぶ川港と、長崎街道の宿場町として江戸時代より栄えた土地です。

水神・商売の神でもある恵比寿様の像が町のあちこちに座し、常在寺・本應寺などの古刹の下、江戸・明治・大正・昭和と続く商家の家並みと玄関口の揚戸(あげど)や三和土(たたき)など生活の知恵に感心し、当時の活気が偲ばれました。

表通りは道幅が広く、現代的に整備され建物の保存、修復と共に多大な人的・物的費用が注がれたと思います。

毎年 11 月には、レトロな自動車を集めてイベントを催しているようです。塩田川を活かした春・夏のイベントがあってもいいと思いました。



今回の研修旅行の後、『発見!ながさき遺産塾』の対象地区を考えますと、寺町と中島川に包まれ、江戸期の大火、昭和期の戦災・土地整備、大水害を経て在る現在の町並みは、古風な風情と今風のスタイルとのギャップを絡めて味わえる長崎らしい町ですので、これからも程よい賑わいと生活感あふれる町であってほしいし、長崎を訪れるお客様にも案内したいと思いました。

全国には、江戸時代からの古民家群を保存し、観光のスポットとしている所はかなりのありますが、昭和初期からの町家・商家が保存され、かつ、生活の場でもあるというところは少なく、観光のゾーンとして伝統的建造物群保存地区以外にも他のゾーンと周遊する形



の観光ルートを『さるくコース』に指定し、車両の制限(車両重量制限・速度制限など)や、休憩所の整備で、観光のお客様にゆったりと長崎を楽しんでいただくようになればと思います。

ルートを固定し、時間にしばられる紋切り型の観光から個人の興味のままに、ゆったりとした町めぐりの提案が交流人口を増やす切り口になると思え、長崎の多様な情緒ある町や通りは、日本国内からも海外からも、もっと多くのお客様に喜んでまわっていただけたらと思います。

今回の研修でお世話になった『肥前浜宿町づくりデザイン研究会』、『塩田津・町めぐりガイド』の皆さまに感謝し、結びといたします。



← 修復中の壁

昨年製作した地図「ながさき遺産めぐり 中通り商店街編」

**ながさき遺産**  
めぐり  
中通り商店街編

長崎らしさが残る町の魅力を守り、次の世代に残すためには何が必要なのでしょう。その町を構成してきた「長く使われてきた建物」や「長く続けられている商売」などを守り継承することではないかと考えています。

そこで私たちの塾では、長崎らしさが残る中通りに注目し、町のなかにある、80年以上使われている建物と、50年以上続いている商売などを町の宝として「ながさき遺産」に認定しました。

ぜひ、「ながさき遺産」をめくって、中通りに残る長崎らしさを感じてください。

● 店内で「ながさき遺産」を見ることができます。  
● 光景の心はご遠慮ください。

制作：長崎伝習所  
発見！ながさき遺産塾  
協力：中通り商店街

## ●塾生の感想●

(阿多清子) 塾の活動では、中通りのヒアリングを通して、現状の街には、形として残っているものはだんだんと少なくなっていますが、地域のみなさんからヒアリングをしてみると、思い出の中に古き良き長崎が息づいているんだと感じました。古いものを残すということは、それに触れ、歴史や文化を知り、また、現在の私たちの文化を改めて認識するきっかけになるんだと感じました。

(神近幸司) 今年度は、建物を中心とした「ながさき遺産」の調査となり、ソフト面の掘り起しが不足したのでは?(反省)と思います。2年間を通じて中通り地区の現況、地区の皆様、塾生同士の繋がりが少しでもできたことが私にとっての大きな成果です。今後も自己研鑽のために伝習所の行事には参加していきたいと思います。2年間ありがとうございました。

(竹中 梓) 私たちが取り組んでいる、中通り界隈のまちについて、人の住む場所であり、人が集まる場所であってほしいと思う。そのためにこのまちが持つ懐かしい雰囲気大切に遺していきたい。今年の活動で、まず古そうな建物だなということをきっかけに、その建物を取り巻く色々なことを知る作業を行うことで、中通り界隈が潜在的にもっているものをひとつでも多く伝えていきたい。

(戸田八州男) 建築士会の活動を通じて、何か活動が出来ないかと思い、この塾に参加しました。異業種の方との活動はあまり経験が無かったので、様々な意見交換や、新しい発見があり楽しく活動が出来ました。中通り近隣の聞き込み調査では居住者の方と話がはずみ、奥の部屋で先祖代々の品々を見せていただいたり、貴重なお話も聞くことが出来ました。しかし、居住者が代替りなどで昔の話が聞け

ない建物も沢山あり、人が変われば建物への愛着も無くなり、昔ながらの建物が変わっていきます。早く何かの形で残せばとも思いました。

(富田祐一) 本塾への参加のきっかけは、最近、長崎の中心街などをまち歩きをするたびに、「あれ、あの建物好きだったのに取り壊されるんだな…」などと、町並みを形成していた建物が失われていくのを感じるようになったことでした。まちなかでも中通り近辺という、個人的にも好きな、長崎らしさを感じられる地区での活動に参加して、改めて、こんな建物や景色があるのだなと、再発見の連続でした。研修旅行では佐賀県の浜宿、塩田津を現地でまちづくりに携わる方のガイドで、景観を活かす手法など見学し、長崎の街に照らし合わせてみて、とても考えさせられる経験となりました。去年は、龍馬伝や長崎さるくの盛り上がりで、長崎の事を市民自らが積極的に知る、という気運がより高まった一年でしたが、本塾のように様々な地域に住む市民がある地域で交流し、魅力を発掘する、という手法がもっと広がり活発になると長崎の街はもっと面白く、元気になっていくだろうな、と思いました。

(濱崎雅裕) 中島川と寺町に包まれ、様々な職人の町として江戸時代にはじまり、お諏訪さんの参道とつながり種々の商いで、明治から今も設えをかえながら、ひとの顔の見える町であり、長崎市内に留まらず、九州有数の誇るべき町並みであると感じました。時代を感じさせる建物を暮らしや商いに活かす皆さんと話の花が咲かせられて、貴重な体験でした。

## 発見！ながさき遺産塾

塾長	川瀬 智子				
1	阿多 清子	21	丸岡 浩樹	41	
2	上野 皓士	22	峰 敏江	42	
3	大田 直文	23	宮下 雅史	43	
4	神近 幸司	24	村上 昭則	44	
5	岸本 賢一	25	山北 守	45	
6	北浦 由美子	26	山口 緑朗	46	
7	木下 智美	27		47	
8	小林 英則	28		48	
9	小武家 雄康	29		49	
10	里 直考	30		50	
11	竹田 政和	31		51	
12	竹中 梓	32		52	
13	土屋 貴子	33		53	
14	鉄川 進	34		54	
15	戸田 八洲男	35		55	
16	富田 祐一	36		56	
17	中田 佳代子	37		57	
18	濱崎 雅裕	38		58	
19	濱田 勇	39		59	
20	原田 宏子	40		事務局員	まちづくり推進室 松尾 今日子

